

L2受験体験談1
事前準備:情報の入手とその活用

東芝ソリューション株式会社
IT技術研究所 大森麻理

2006年7月19日

1. L2試験受験の動機とメリット
2. 事前準備と試験会場にて
3. 情報の活用
4. ご参考
5. まとめ

1. 東芝ソリューション(株)において、UMTP L2資格は高く評価される
 - 「UMLで設計できる技術者である」と認められる
 - UMTP資格の取得状況を会社がDB化している
 - 社内教育にて、オブジェクト指向・UMLの総仕上げとして資格取得を推奨している(受験の取扱は部署ごとに異なる)
 - IT技術研究所での扱いは以下
 - 受験料は会社が負担
 - 業務の一環として受験できる
 - スキルアップの目標指標として活用
2. 業務(オブジェクト指向・UML活用支援、教育講師)に直結する
 - 「分析・設計のスキルが十分にある」ことの裏づけ
 - 「(1)業界標準の用語・方法と(2)東芝ソリューション(株)独自の用語・方法との区別ができている」ことの裏づけ
3. 社外で通用する資格である

- 分析・設計において、記述者の意図をより表現するモデリングができる
 - 何通りかのモデルを考えて最適なものを選び取る力がある
 - なぜそのモデルがよいのかを説明できる
- OMGの標準と、独自拡張部分とが区別できる

TOSHIBA 2. 事前準備と試験会場にて

項目		不合格時 (05.3)	合格時 (06.6)	事前準備
事前準備	問題形式	不明 (情報源なし)	明確	
	採点基準			
	解答にあたっての ポイント			
	試験勉強	推測 (情報源なし)	明確	
試験会場にて	時間	不足	ちょうど	
	メモ用紙	不足	十分	
	問題	量・内容に圧倒 され、焦る	予想範囲内。 気持ちの余裕有り	
	各設問の正誤	見当つかず	見当がつく (取りこぼしなし)	

"UMLモデリング教科書 UMLモデリングL2" (翔泳社発行)
 UMTP「UMLモデリング技能認定試験 L2試験 実践紹介セミナー」資料
 UMTP Webサイト 掲載情報
 勉強

© Toshiba 5

TOSHIBA 2. 事前準備と試験会場にて

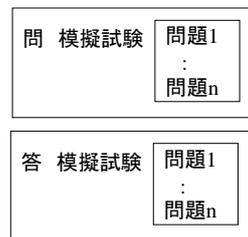
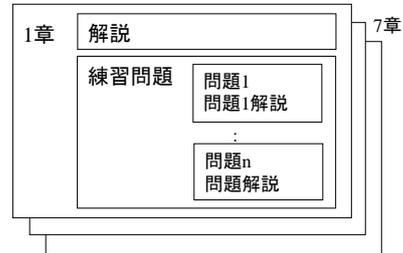
項目		不合格時 (05.3)	合格時 (06.6)	事前準備
事前準備	問題形式 2	不明 (情報源なし)	明確	
	採点基準			
	解答にあたっての ポイント			
	試験勉強 3	推測 (情報源なし)	明確	
試験会場にて	時間	不足	ちょうど	
	メモ用紙	不足	十分	
	問題	量・内容に圧倒 され、焦る	予想範囲内。 気持ちの余裕有り	
	各設問の正誤	見当つかず	見当がつく (取りこぼしなし)	

"UMLモデリング教科書 UMLモデリングL2" (翔泳社発行)
 UMTP「UMLモデリング技能認定試験 L2試験 実践紹介セミナー」資料
 UMTP Webサイト 掲載情報
 勉強

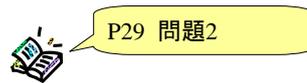
© Toshiba 6



1. L2試験の対象カテゴリ7種が網羅されている
(7章+模擬試験)
2. 問題形式、内容がL2試験と同レベルである
3. 出題のポイント、選択肢を選ぶ基準が解説されている
4. 本文解説が充実しており合格後も活用できる



1. 文章のみ



~を~しなさい。
 (1)
 (2)
 (3)
 (4)

解答: (1)○ (2)○ (3)○ (4)○



すぐ解ける。
取りこぼさないこと。

2. 文章と図(適切な図を選ぶ)



P113 問題2 設問1

.....です。
です。
します。

~を~しなさい。

(1)資料A
 (2)資料B
 (3)資料C
 (4)資料D

資料A 資料B 資料C 資料D

解答: (1)○ (2)○ (3)○ (4)○



.....です。
です。
します。

~を~しなさい。

(1)資料A
 (2)資料B
 (3)資料C
 (4)資料D

資料C

閉じる

解答: (1)○ (2)○ (3)○ (4)○



同時には見えない。
 メモを取る。

3. 文章と図(複数箇所穴埋め)



P53 問題3 設問1

.....です。
です。
します。

~を~しなさい。 資料1

(1) ... (2) ... (3) ...
 (4) ... (5) ... (6) ...
 (7) ... (8) ...

(19) ... (20) ... (21) ...

解答:

	1	2	3	4	...	21
(a)						
(b)						
(c)						
⋮						
(n)						

.....です。
です。
します。

~を~しなさい。 資料1

(1) ... (4) ... (7) ...

(19) ... (20) ... (21) ...

解答:

	1	2	3	4	...	21
(a)						
(b)						
(c)						
⋮						
(n)						



同時には見えない。
 とにかくメモを取る。

- 出題のポイント、選択肢を選ぶ基準が解説してある

例1 何を問われているのか



P76 問題2

迷い: 「①問題文そのままの選択肢」と「②問題文と意味は同等だが表現が違う選択肢」がある。何を聞かれているのか?

- 設計者が独自の解釈を加えるべきではないから①?
- 何かしら目的があって変えてあるのだとしたら? その目的は?



解説: アクティビティ図であれば・・・

- アクティビティ名をどの観点でつけるか。システムかアクターかをヒントにする

例2: 図のどこをチェックすべきか。
(全部みている余裕はない)



P222 問題2 設問2

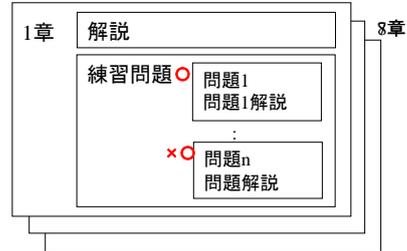
シーケンス図で「依存関係」と言えば・・・

- メッセージの送信元・送信先
- メッセージの引数、返却データも依存関係になりうる



1. 全問題に一回以上正解する

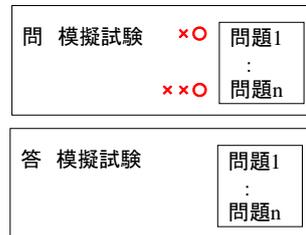
- ① 問題を解く
- ② 解答・解説を確認し○×をつける
- ③ 解説がわからなければ「解説」ページにて復習する
- ④ 二日目以後は間違えた問題のみ解き全てを○にする



自信がつく 

二週間かかる

- 一日1章がせいぜい
- 5章は二日必要



2. 回答は本に書き込まず、別紙にメモを取る

- 手を動かす練習をする
 - 本番では85分間メモをとる



- 何をメモするか決める
 - 図
 - 選択肢
 - 図+選択結果

TOSHIBA 4. ご参考(1): 受験当日

1. 時間
ちょうど(見直す余裕が少々ある程度)
2. メモ用紙
ホワイトボード 3枚(5面)使用 
3. 問題
じっくり眺め、何をきかれているか考える余裕があった
4. 各設問の正誤
見当がつく(取りこぼしなし。手ごたえあり)

TOSHIBA ご参考(2): テストセンターとGUIの違い

(a)~(n)に対し、選択肢が21個ある場合

- ピアソンVUE
 - 穴埋め箇所毎に一行
 - 選んでいない選択肢がどれか、重複して選んでいないかを確認しやすい
 - キーボード不要

選択肢 (1) ... (2) ... (3) ...
(4) ... (5) ... (6) ...
(7) ... (8) ...

(19) ... (20) ... (21) ...

解答

	1	2	3	4	...	21
(a)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>
(b)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>
(c)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input checked="" type="checkbox"/>
⋮						
(n)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>

- NTTデータ テスティングサービス
 - 穴埋め箇所全部で一行
 - 画面上の領域が少ない
 - 選択肢入力にマウス不要
- ※東京のみ

選択肢 (1) ... (2) ... (3) ...
(4) ... (5) ... (6) ...
(7) ... (8) ...

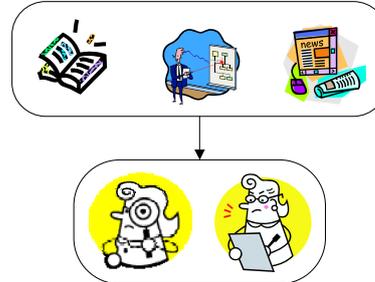
(19) ... (20) ... (21) ...

解答

(a)	2	(b)	4	(c)	21	...	(n)	3
-----	---	-----	---	-----	----	-----	-----	---

1. 試験対策: 事前対策を万全に

- 情報源
 - “UMLモデリング教科書 UMLモデリングL2” (翔泳社発行)
 - 本セミナー資料
 - UML Webサイト掲載情報
- 心身の準備
 - 頭(目を通し、解く)
 - 身体(手を動かす)



2. UML-L2取得による効果:
実際の業務(オブジェクト指向での分析・設計)
において大いに活用できる

- 「意図を的確に伝え」「誤解を生まない」モデリングを実施するための勘所が身につく
- モデルの良し悪しに「鼻が利く」

